

平成24年度 第1回庄内町行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時 平成24年8月23日(木) 18時00分～20時00分
- 2 開催場所 庄内町役場 第二会議室
- 3 出席委員 石川茂吉、川村昭三、大瀧国夫、岡部一宏、小林義廣、齋藤紀世子、志田重一、和田明子
- 4 欠席委員 高橋紀子、廣田幸記
- 5 事務局等 情報発信課長 企画係長、清野主任、佐々木主事

○ 辞令交付 (18:00)

小林義廣委員へ情報発信課長より辞令交付

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 確認事項等

資料確認(事前配布資料の修正含む)及び本日の日程について(事務局)

4 説 明

(1) 平成24年度事務事業評価の外部評価について

【事務局】今年度の庄内町事務事業評価の取り組み概要について説明

【委員】スクラップアンドビルドの意味、手法の見直しに至った従来評価の一番の問題点は？

【事務局】一般的に従来事業を一度止めて、新しい考え方、新しい事業を行う事。問題点としては、これまでの手法では手間の割に効果が図られていたとは言い難かった。

【委員】なぜ5月、年一回の評価なのか？

【事務局】昨年度までは事務事業評価が、次年度予算編成に間に合っていなかった為、今年度は5月に実施し、3次評価を含めて次年度予算に評価結果を反映できるようにした。

【委員】民間企業ではPDCAサイクルといい、事業が終わった場合に、またすぐ次の事業へとつなげて行くために反省点は少しずつ変えていかなければならない。

事務事業評価の効果を考えると、事業を終えた時点で評価を始めなければならないのではな
いか。年に何回が実施して見直していく必要があるのではないか。

(夏宵祭りも少しずつ衰退していて、今年の祭り終了後すぐに、次年度へ向けての提案を
させていただいた。仙台でも多くの事業やイベントがあるが、事業終了直後には次年度の
実行委員会が動き出している。)

【委員長】過去の評価について遅れ気味の傾向があったため、今回改善するために早めの評価を行っ
た。

【委員】評価シートの変更点に職員人件費を含まない、臨時職員等の人件費は含まれるとあるが、
これは正職員は給与削減されないが臨時職員は給与削減されるということか？

【事務局】正職員については、定員適正化計画において、人員削減等により人件費削減を図っている。
事業実施の為などに雇用された臨時職員の給与については、事業費の構成を確認できるよ
うにするため事業費シートへ記載をしておき、臨時職員を減らす目的ではない。

5 協 議

(1) 庄内町行財政改革推進計画の進捗状況について

【事務局】進捗状況について概要説明【資料4-1、4-2】

【委員長】事務局の説明に対して意見は。

【委員】3ページに補助金等の見直しについてとあるが、花卉栽培用のハウスを3/4補助で建て花卉栽培をしたが、多くの人がハウスを建て、花卉栽培を行ったため市場原理により生産数が増えた為、単価が下がった。そういった悪影響もあった。

【事務局】個別の補助事業については先ほどの事務事業評価において費用対効果の検証が必要となってくると感じている。

【委員】資料4-2については目標数値をすでに実績が下回っているがよいのか？

資料4-1についてはもう少し具現化した書き方が必要なのではないかと？

【委員】毎回同じことを聞くが、町有財産は本当に22件しか売れないのか？売る努力をしているのか？このままにいても税収増につながらない。行政側が若者などのニーズをとらえて行かないと一歩進んだ行政、町を作っていけない。何か一つに特化した町づくりをしていってはどうか。

【委員】計画、実績、次年度計画について、実施、継続実施等の表現で記載がなされているが、何を基準にした判断なのか曖昧なところがある。判断基準への工夫、指導が必要ではないか。

【事務局】もう少し具現化した書き方、担当課においては取り組み状況を踏まえ、より厳しい評価、計画を記すよう努めたい。

【委員】公共工事のコスト削減について、何でも削減すれば良いものではなく、ランニングコスト、維持管理のことも踏まえた計画を建てなければならない（安い資材を使えば長持ちしない）。維持管理に費用のかかると分かっているものは民間企業ではつukらない。納税貯蓄組合では納税率100%だった。残念ながら組合がなくなり、おそらく収納率が下がるであろう。民間活力の活用を謳っているが、もっと住民からの協力を得てできることはあるはずである。

【委員長】各委員からいただいた意見をもとにまとめられたい。

(2) 庄内町行財政改革推進計画重点プロジェクトにかかる実施計画案について

【事務局】実施計画案について概要説明【資料5-1】

【委員】若者定住促進事業について、町が最初から土地、建物を準備しても、費用対効果が上がるとは考えがたい。また坪単価も異常なほど高かった。民間の物件を活用（民間アパートの空き室を町が買い上げる）するなどもできるのではないかと。

【委員】国、県から言われた事をやっている。言われたからやっているだけでは、職員の町づくりへの本気さが感じられない。もっと本気で町の職員が取り組めば、面白い町づくりができると思う。民間活力もそうだが、民間企業の考え方をもっと取り入れて欲しい。逆に、子育て応援日本一の町づくりを目指しているのに、（保育園を）民間委託する事には疑問を感じる。

【委員】この評価自体を、職員が大切なものだと感じてやっているのか？どれだけこの逼迫した経済状況を理解しているのか？この評価からはただやらされているとしか感じられない。

【委員】これまでのやり方は、役場で考えたことを民間でやれないかと振られるのだが、採算が合

わなくて出来ないことがある。民間活力を導入したいのならば、計画段階から民間と共に作り上げていかなければならないのではないか。民間も入って話し合っていくことが大切だと思う。そのような経過を辿れば、「この部分は民間で」という話ができるのではないか。

【委員】以前から見れば、随分改善され、進んできている事業もあるが、もっと住民に事業の状況をアピールして欲しい。

【委員】3億円削減目標が、すでに4億削減になるということか？

【事務局】削減できると予想される数値の積み上げなので、この他に増えてくるものもある。

【委員長】各委員からの意見を参考にいただき重点プロジェクトにかかる実施計画を策定された。

6 その他

次回の日程調整について

次回開催は平成24年8月30日（木）午後6時00分からの開催を予定。案内通知により再度お知らせすることとした。

7 閉会

(20:00)